小さな英雄の詩（1971）

POLONEZ OGINSKOGO

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 ソ連
色彩 B&W
時間 83分
初公開日 1972/06/10
公開情報 松竹映配

【キャッチコピー】
戦火をこえて固く結ばれた　音楽と友情！　「生きていたんですね」　少年は弓をとった　美しく力強く絃は高鳴る……　流れる“愛と独立”のポロネーズ！

【解説】
　戦争により両親を失ったバイオリン好きの少年が、ドイツ軍相手に繰り広げる戦いを描いた小さな英雄伝。独軍の攻撃により戦災孤児となった主人公（ツッケル）は行く宛も無く各地を放浪する。が、やがてパルチザンに参加。彼等とともに敵と戦うように……。７１年モスクワ映画祭、全ソ連邦教育省賞受賞。同年全ソ映画祭、最優秀賞受賞作品。

【クレジット】
監督 レフ・ゴルーブ
脚本 コンスタンチン・グバレビッチ
撮影 グリゴーリ・マサリスキー
音楽 ゲンリフ・ワグネフ
出演 イリア・ツッケル
ゲンナジー・ユフティン
ペトロ・パブロフスキー

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.